

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

配当金受領株主
確定日 期末配当金 3月31日
中間配当を実施する場合 9月30日

定時株主総会 毎年6月

株主名簿管理人及び
特別口座の
口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
電話0120-094-777 (通話料無料)

公告方法 電子公告
(当社のホームページに掲載いたします。)
(<https://www.maruo-cal.co.jp/>)
但し、電子公告によることができない事故、その他の
やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。

上場証券取引所 東京証券取引所スタンダード市場

単元株式数 100株

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求、買増請求、配当金の振込指定その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株主優待制度に関するお知らせ

1. 対象となる株主様

2024年3月31日現在の株主名簿に記録された当社株式1単元株(100株)以上を保有していただいている株主様を対象とさせていただきます。

2. 優待の内容

対象となる株主様1名につきクオ・カード1,000円分を贈呈させていただきます。



第76期 中間報告書

2023年4月1日から2023年9月30日まで

BUSINESS REPORT



証券コード：4102

丸尾カルシウム株式会社

〒674-0084 兵庫県明石市魚住町西岡1455番地

丸尾カルシウム株式会社



代表取締役社長 丸尾治男

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。
皆様のご支援の下進めてまいりました、当社第76期上半期(第2四半期連結累計期間 2023年4月1日から2023年9月30日まで)の事業の状況につきまして、ここに
ご報告申し上げます。

当上半期における世界経済につきましては、コロナ禍の下発生した供給制約、人手不足による人件費の上昇等を起因とするインフレの抑制を目的に、米国やEUでは金利引き上げ、金融引き締めを進めて経済のソフトランディングを模索しております。一方でロシアによるウクライナ侵略は続き、10月にはイスラエルとハマスの武力衝突が勃発する等、極めて不安定な状況にあります。中国も不動産不況の進行から、低成長を余儀なくされております。

日本経済につきましては、半導体不足の解消から自動車産業に活気が戻りつつありますが、景気は回復途上にあります。また、政府、日銀は金融緩和と低金利政策からの出口戦略を明確には発動できず、急激な円安に見舞われた結果、輸出関連産業を中心に企業業績は好調を示してはいます。しかし、物価上昇、人手不足が続くなか、賃金の引き上げ、一人当たりの生産性向上が最大の課題であると考えます。

このような経済情勢下、当社グループにおきましては、新築住宅着工戸数の持ち直しの動きは鈍いものの、リノベーションや自動車需要を取り込んだ当社主要顧客への安定供給を第一に、原材料、エネルギー価格の高騰が続くなか、コスト削減と価格改定を進めてまいりました。また、新規商材の積極的な取り扱いも進めました。

その結果、売上高は62億84百万円(前年同期比2.0%増)と1億25百万円の増加となりました。損益面につきましては、営業利益は77百万円(前年同期比131.9%増)、経常利益は2億17百万円(前年同期比15.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億52百万円(前年同期比94.2%増)となりました。

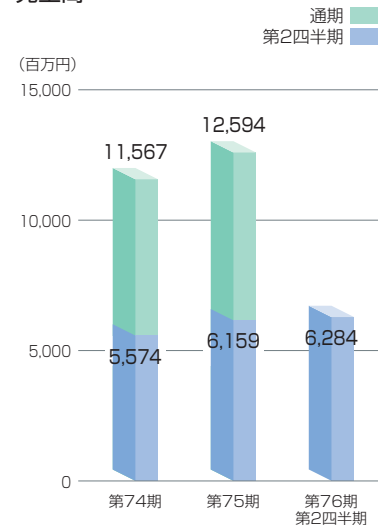
今後の経済情勢は予断を許しません、「チームワークを発揮して、働いて楽しい会社を実現しよう。」との全社目標の下、人材の活性化に最大の力を注ぎ、新製品開発による収益力の向上、炭酸ガス排出量削減等による社会課題の解決に取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

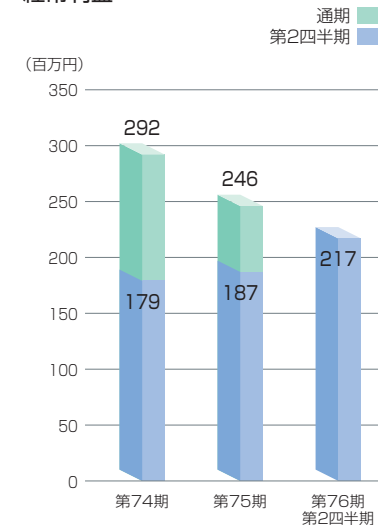
2023年12月

		第74期 第2四半期 (2021.4~2021.9)	第74期 (2021.4~2022.3)	第75期 第2四半期 (2022.4~2022.9)	第75期 (2022.4~2023.3)	第76期 第2四半期 (2023.4~2023.9)
売上高	(百万円)	5,574	11,567	6,159	12,594	6,284
営業利益	(百万円)	103	138	33	33	77
経常利益	(百万円)	179	292	187	246	217
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	(百万円)	118	190	78	117	152
1株当たり四半期(当期) 純利益	(円)	53.12	85.74	35.26	52.33	67.95
純資産	(百万円)	9,425	9,297	9,311	9,700	9,724
総資産	(百万円)	15,754	15,637	16,640	16,990	16,711

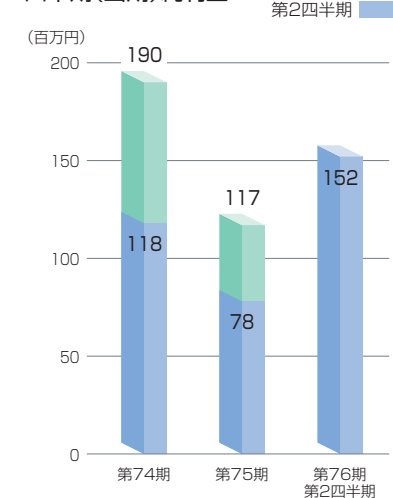
売上高



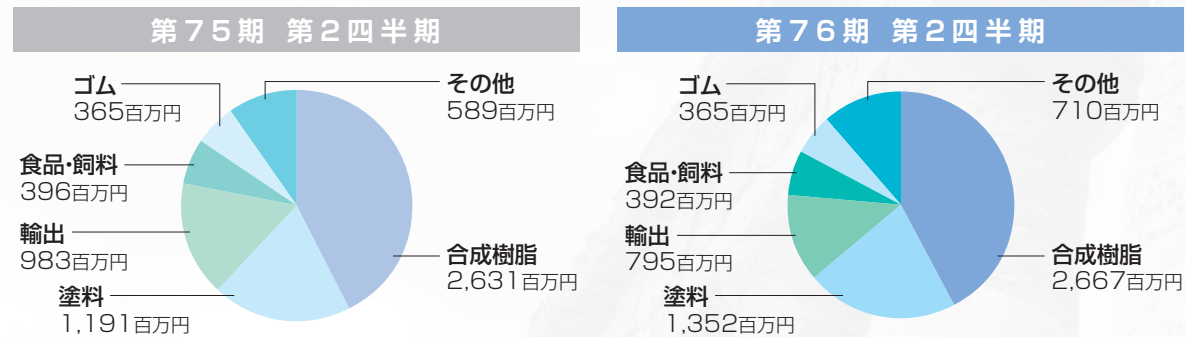
経常利益



親会社株主に帰属する
四半期(当期)純利益

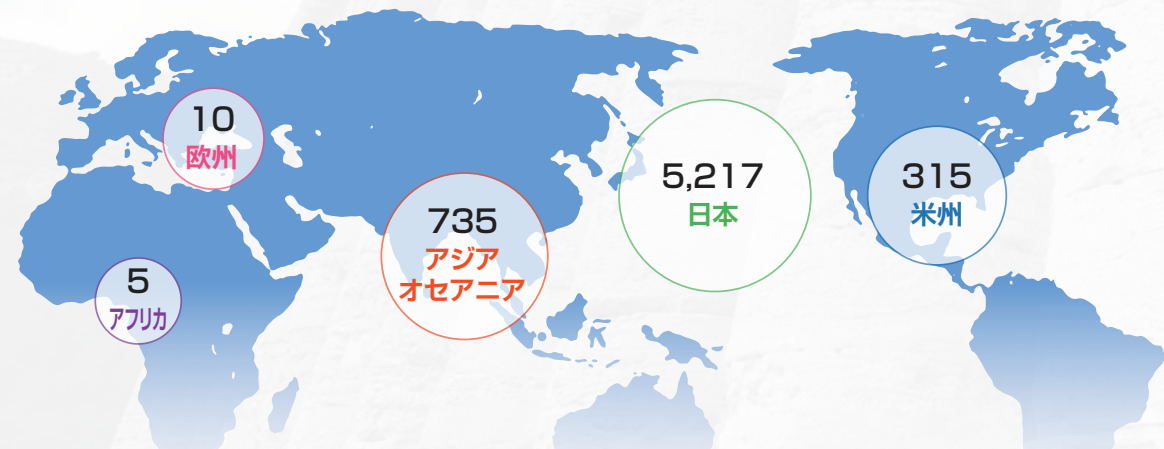


用途別売上高構成



地域別売上高構成(第2四半期)

単位:百万円



CaCO₃

炭酸カルシウムで健康な生活と豊かな人生を

建築物や自動車部品、家電・電子機器から紙オムツ等の衛生用品まで、私たちの身のまわりの生活や社会活動に幅広く利用されている炭酸カルシウムは、石灰岩を原料としています。

この石灰岩は、世界中に広く埋蔵しており、“資源が乏しい”とされている日本においても、良質な石灰岩が広く産出されることから、国内(唯一の)自給率100%とされています。

そのような石灰岩を、長い地球の歴史から考えてみますと、地球が誕生した頃の大気は現在と異なり酸素は無く、近隣の惑星(水星や金星)と同様、二酸化炭素が主成分でした。

いつしか海に含まれるバクテリア(生物)が、海に溶け込んだ二酸化炭素から光合成で酸素をつくり出すだけでなく、海水中のCa(カルシウム)と二酸化炭素を取り込んで珊瑚や貝殻類をつくり出し、これらの生物がやがて石灰岩へ変化したと考えられています。

私たち丸尾カルシウム株式会社は、この地球が生み出した石灰岩から炭酸カルシウムをつくることにより、皆様の日常生活を次の世代でも支えられるよう、環境に配慮した持続可能な事業活動をこれからも行ってまいります。

株式の状況 (2023年9月30日現在)

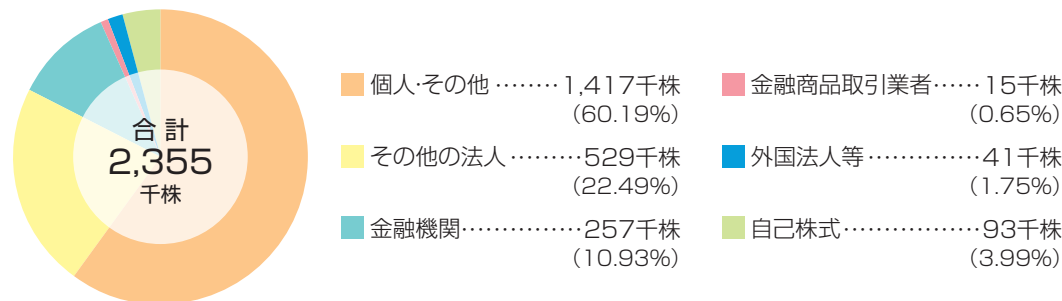
発行可能株式総数 8,000,000株
 発行済株式の総数 2,355,200株
 株主数 1,057名

大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
中国砒業株式会社	249	11.02
丸尾治男	153	6.76
山陽化学産業株式会社	114	5.04
丸尾政雄	90	3.98
株式会社三井住友銀行	76	3.39
大同生命保険株式会社	63	2.80
丸尾直子	54	2.42
損害保険ジャパン株式会社	53	2.38
丸尾カルシウム従業員持株会	48	2.12
今井一史	40	1.78

(注)1.持株比率は、自己株式数(93,939株)を控除して計算し、小数点以下第3位を切り捨てて表示しております。
 2.自己株式は、上記大株主からは除外しております。

所有者別株式分布状況



会社概要 (2023年9月30日現在)

商号 丸尾カルシウム株式会社
MARUO CALCIUM CO.,LTD.
 本社所在地 〒674-0084
 兵庫県明石市魚住町西岡1455番地
 創業 大正15年(1926年)10月1日
 設立 昭和23年(1948年)11月18日
 資本金 8億7,655万円
 従業員数 276名
 事業概要 炭酸カルシウム製造・販売、
 その他無機薬品販売

会社役員及び執行役員 (2023年9月30日現在)

代表取締役社長 丸尾 治男
 専務取締役 深津 秀郎
 常務取締役 森下 俊哉
 取締役相談役 今井 一史
 社外取締役 久保 眞治
 常勤監査役 谷井 通宏
 社外監査役 増田 博明
 社外監査役 石井 隆明
 執行役員 柴田 洋志
 執行役員 森 常久
 執行役員 坂口 茂
 執行役員 高垣 充

当社グループ

